

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	統計利活用支援事業					事業コード	020501820137				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施策名	2 地域課題の解決に向けた仕組みの構築				施策コード	112				
事業担当	所属	03010000 市長公室 経営戦略課				所属長	新年度に記入				
会計情報	款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	01 統計調査総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・統計データ等によって得られる事実を常に市民に分かりやすく提供し、地域課題の解決や早期発見につなげる。 ・データ分析等による根拠に基づいた政策立案に向け、職員の知識とデータ分析実践能力を向上させる。 ・基幹統計調査を円滑に実施するための調査員確保に向けた取組や、近隣都市間の情報共有などを推進し、統計調査員や担当職員を対象とした各種研修などに参加し、統計調査実務者としての資質を向上することで、自治体の施策に反映する基礎資料としての役割を果たす統計資料を円滑に作成する。										
対象者	登録統計調査員、職員(正規・会計年度任用職員等)	対象者数	2,501		単位あたりコスト	2.4					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・統計調査を実施するための研修や統計資料の作成等を行うとともに、政策分析精度向上のため、統計データを業務に活用する技術を浸透させるとともに、市の保有するデータを有効活用できる基盤を整える。 ・統計調査員確保対策事業(府からの受託)の実施 (『統計調査員確保対策事業』委託金 10/10) ・京都府都市統計協議会、近畿都市統計協議会との連絡 ほか										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	374	384	391	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①~③)	374	384	391	0				
予算財源内訳	① 一般財源	352	362	369	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	22	22	22	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	374	384						
	③ 執行額	317	0						
	④ 執行率	84.8%	0.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.07 / 0.00	0.65 / 0.34	/	/				
	② 概算人件費	8,560	6,050						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,877	6,050							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		統計調査結果まとめ資料公表数	件	/	3 / 3	2 / 3	/ 3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	職員研修・研究会の回数	件	/	2 / 2	3 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト			158.5			
	調査員登録数	件	/	101 / 123	97 / 123	/	123
	単位あたりコスト			3.1	0.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた財源を効率的・効果的に配分するため、近年、EBPMというデータに基づく政策立案が求められているなど、データ活用は昨今の必須事項であり、職員のデータ利活用を進めるため、研修や位置情報分析システム導入の取組を行った。 国の基幹統計を実施する上で調査員の確保は必要であり、基礎自治体の業務として調査員確保対策事業に取り組んだ。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修については、総務省の無償講師派遣制度を活用した研修を実施し、コスト軽減に努めた。 統計書作成では、冊子化を取りやめ電子データでの配布を行い、コスト軽減に努めた。 	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修は、講義だけでなく職員自らが統計データを抽出、加工するまで、またアンケート結果の分析方法を研修した。受講者にも好評であり、更に取組を進めていきたい。 福知山市統計書、住民基本台帳移動報告など、本市に関係する統計データを見える形にして市民に提供することができた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修では、受講者自身がアンケートを使ったデータ分析手法を体験し、実務研修をまちづくり構想の指標担当者を中心に行った。受講者にも好評であり、引き続きデータ取得や分析手法等の実務に係る知識や技術を高める研修を実施し、データの取り扱いに習熟した職員の育成を図っていきたい。 また、総務省統計局の職員による国の動向やデータ利活用の重要性などを講義いただき、国の考え方やこれからの職員像について学んだ。また、講義の内容は、ZOOMで発信するとともに、後日ビデオを見ていただく研修も併用して多くの職員が受講できた。今後も、講義内容の浸透を図るため、様々な方法で多くの職員が受講できる体制を整えたい。 登録調査員は慢性的に不足しており、今後も広報を行ったり、統計調査などの機会に従事者に登録を促すなど、募集を継続する必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 研修後のアンケート結果からも、データ利活用の重要性は理解するものの、データの取得方法や分析手法がわからない職員も多いため、実務研修を実施するとともに、引き続きEBPM等データ利活用の意識づけを行うための研修も実施していく。 また、多くの職員が受講できる機会を確保するため、引き続きZOOM等も活用して視聴できる体制を整えていく。 引き続き、様々な広報媒体での登録調査員の募集に関する広報活動を継続して実施し、基幹統計調査時に一般応募の調査員に対し登録調査員の意向を図ること登録調査員を確保していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域生活支援事業(社会参加促進事業)					事業コード	030102420357			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造			
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進				施策コード	313			
事業担当	所属	15040000 福祉保健部 障害者福祉課				所属長	新年度に記入			
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 社会福祉支援費	会計	01 一般会計	決算附属資料	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	福知山市障害者計画、第6期障害福祉計画、第2期障害児福祉計画			R6現在の状況	継続中
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、福知山市障害者団体バス借上補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
関連事業	-									

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	障害のある人が、さまざまな事業や活動を通し、社会参加の促進や交流を図る。									
対象者	障害のある人			対象者数	4,599		単位あたりコスト	1.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社、前田観光自動車株式会社									
事業概要 (箇条書き)	・障害のある人等の体力増強、交流、余暇等、また、障害のある人等がスポーツに触れる機会を提供するため、各種レクリエーション教室や大会・運動会などを開催する。 ・障害のある人等が社会参加活動を行うための環境の整備や必要な支援を行う。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容					

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,836	2,836	2,510	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
		前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0			
小計(①~③)	2,836	2,836	2,510	0		
予算財源内訳	① 一般財源	709	709	667	0	
	② 国支出金	1,418	1,418	1,229	0	
	③ 府支出金	709	709	614	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	2,836	2,836			
	③ 執行額	1,095	0			
	④ 執行率	38.6%	0.0%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.53 / 0.00	0.72 / 0.01	/	/	
	② 概算人件費	4,240	5,785			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,335	5,785				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	在宅デイサービス参加者数	人	27 / 190	109 / 190	136 / 190	/ 190	190
	ふれあい大運動会参加者数	人	中止 / 500	中止 / 500	348 / 250	/ 250	250
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	在宅デイサービス実施回数	回	3 / 16	13 / 16	17 / 16	/ 16	16
	単位あたりコスト		9.2	84.2			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅障害者デイサービス事業については、障害のある人やボランティア団体のニーズをとらえた事業を実施するため、障害者団体等で構成する運営委員会で協議し、実施した。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅障害者デイサービス事業に関しては、障害者団体等で構成する運営委員会で事業の内容を協議した上で実施した。それぞれの団体と連携することで、効率よく事業を実施できた。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅障害者デイサービス事業に関しては、障害者団体等が参加している運営委員会でアンケートを実施し事業の内容を協議した上で実施した。 在宅障害者デイサービス事業は、障害のある人の社会参加の契機となる事業だが、事業によっては参加者が固定される傾向にあるため、当事者団体に広く周知することを呼び掛け実施した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>外出の機会が少なくなりがちな障害のある人の社会参加の機会となり、障害や障害のある人に対する市民の理解を深める機会としても、重要な役割を果たす事業である。 参加者が固定化することがないよう、より広範囲への周知を図る必要がある。 地域でのふれあいの場は障害のある人には社会参加の場であり、障害のない人には障害者理解を深める機会であるため、実施方法を工夫し事業を検討する必要がある。</p>		
改善策	<p>参加者が固定化している事業については、運営委員会で事業内容を検討する。 運動会やふれあい福祉フェスタにおいて社会参加の機会を検討する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	手話言語・情報コミュニケーション推進事業					事業コード	030102420386			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造			
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進				施策コード	313			
事業担当	所属	15040000 福祉保健部 障害者福祉課				所属長	新年度に記入			
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 社会福祉支援費	会計	01 一般会計	決算附属資料	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	福知山市障害者計画、第6期障害福祉計画、第2期障害児福祉計画、第2期手話言語及び障害のある人の多様なコミュニケーション促進条例推進計画			R6現在の状況	継続中
根拠法令等	障害者基本法、福知山市手話言語及び障害のある人の多様なコミュニケーション促進条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
関連事業	地域自立支援協議会運営事業									

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	障害のある人が障害特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境を構築することにより、障害のある人もない人も分け隔てられることなく理解あい、お互いに一人ひとりの尊厳を大切に安心して暮らすことができる共生社会を実現することを目的とする。									
対象者	市民	対象者数	75,141	単位あたりコスト	0.1					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	福知山市手話言語・障害のある人の多様なコミュニケーション施策推進会議において策定した施策推進計画をもとに、同会議において施策の進行管理を行い、条例の基本理念に則った施策を推進する。 施策推進会議の開催、障害についての理解啓発人材バンクによる講師派遣、あいサポーター研修の実施(市民、企業・団体等、市職員)、親子点字体験会の開催、行政情報の音訳、奉仕員養成講座等受講補助等									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容							

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,497	1,467	1,515	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
		前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0			
小計(①~③)	1,497	1,467	1,515	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,497	1,467	1,515	0	
決算情報	① 流充用額	829	0			
	② 配当予算	2,326	1,467			
	③ 執行額	1,810	0			
	④ 執行率	77.8%	0.0%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.73 / 0.00	0.87 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	5,840	6,960			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,650	6,960				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	あいサポーター数(累計)	人	2338 / 2500	2563 / 3000	2690 / 3500	/ 4000	5000
推進計画に係る指標の達成項目	件	1 / 8	0 / 12	1 / 12	/ 12	12	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	施策推進会議開催回数	回	2 / 3	3 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		383.0	603.3			
	聴覚障害者災害ファクス登録者数	人	35 / 35	32 / 35	30 / 35	/ 35	35
単位あたりコスト		21.9	56.6	0.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズや意見を施策に反映するため、市内の障害当事者、支援者、市民公募委員で構成する施策推進会議を開催した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 障害理解に継続して取り組まれている「あいサポート企業」と連携して、手話の理解啓発を行ったり、広報ふくちやまに定期的な記事と絡めて、様々なコミュニケーション方法について啓発するなど、低コストで効果のある啓発を工夫した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> あいサポーター数をはじめ、コミュニケーション推進の各種事業について、実施の都度、事業に関わる数値や内容を記録し、実績を適切に把握した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> あいサポーター研修の受講者数の増加を図るため、市内事業所等の集まりの場に出向いたり、商工会議所の会員への送付文書にチラシを同封させてもらうなど、他の組織や事業所との連携、協力をいただきながらあいサポート運動の周知に努めた。また、広報ふくちやまに障害理解に継続して取り組まれているあいサポート企業の活動の掲載も試みたが、事業所等の繁忙もあり、受講につながりにくい状況であった。 無料で障害について学ぶための講師を派遣できる「障害についての理解啓発人材バンク」については、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、地域での学習会が増加したことを受けて、利用件数が伸び、障害理解の啓発に効果があった。更なる活用に向け、継続して実施していく。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 事業所や団体等のあいサポーター研修受講につながるよう、継続して他の組織や事業所等と連携した周知を行う。また、あいサポート企業の活動紹介も継続して行う。 あいサポート運動単独の周知とあわせて、オレンジ運動の周知として、他課(社会福祉課、子ども政策室、健康医療課など)と連携して取り組んでいく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性

事業名	丹波漆等伝統文化活用・支援事業			事業コード	020108230288					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展					
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承		施策コード	431					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課		所属長	新年度に記入					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	08 文化振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針		R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	文化財保護法、漆掻き職人移住支援補助金交付要綱、丹波漆苗木購入費等補助金交付要綱、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
関連事業	やくの木と漆の館事業									

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市の伝統文化の保存・継承を行う団体の支援を行うとともに、普及啓発活動を団体と協働で実施し、本市の誇る伝統文化のPRを行う。									
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者			対象者数	77,500		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	NPO丹波漆、やくの木と漆の館									
事業概要 (箇条書き)	福知山市の伝統文化である丹波漆、丹後和紙、由良川藍技術の保存・継承に取り組む団体の活動支援を行う。 ■丹波漆生産拡大のため苗木や獣害防止柵の購入を行う。 ■伝統工芸展示会等への参加支援を行い、「丹波漆」の魅力を全国に発信し、文化の継承とともに生産・流通・販路等を拡大する取り組みを進める。 ■後継者の育成支援として後継者1人につき3年を限度に補助金を交付する。月額上限50千円、年額600千円。 ■後継者人材の発掘を目的とする伝統的工芸品等の製造に係る調査及び研究の体験研修等を行う事業に補助金を交付する。事業費の1/2、上限10万円。 ■丹波漆の増産を図るため、苗木を購入し育成を図る団体又は個人に対し、苗木購入補助金を交付する。事業費の1/2、上限5万円。 ■漆かき職人の育成・定着のため、賃貸住宅の家賃を補助する。家賃月額1/2、上限2万円/月。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容					

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,359	1,732	1,672	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,359	1,732	1,672	0					
予算財源内訳	① 一般財源	927	614	1,672	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	1,432	1,118	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 149	0						
	② 配当予算	2,210	1,732						
	③ 執行額	1,458	0						
	④ 執行率	66.0%	0.0%						
人概 工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	0.23 / 0.00	0.04 / 0.05	/	/				
	② 概算人件費	1,840	445						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,298	445							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	漆生産量	g	2299 / 3600	2900 / 3600	/ 5000	/	5000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	漆植栽	本	62 / 100	164 / 100	/ 220	/	220
	後継者の育成	人	1 / 1	1 / 1	/ 1	/	3
	単位あたりコスト		1500.0	1458.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ■丹後和紙は本市の伝統工芸品であり、その製作技術の継承は、文化の保存の観点から重要である。丹後和紙の製作を行う事業者の後継者育成を支援するため、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金を交付した。 ■丹波の漆掻きは本市の伝統的な技術であり、その技術の継承は、文化の保存の観点から重要である。漆掻き技術継承者に対し、福知山市漆かき職人移住支援補助金を交付した。 ■かつて本市にて盛んに行われた藍の栽培及び藍染めの技術の保存及び継承は、文化の保存の観点から重要である。藍の栽培及び藍染めを行う団体の後継者発掘事業を支援するため、伝統的後継者育成事業補助金を交付した。 ■丹波漆のPR活動として、福知山市内及び京都市内での物販イベントにてブース出展を実施した。また京都市内での伝統工芸展示会に参加した。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ■丹波漆、丹後和紙、由良川藍の保存、継承に取り組む団体の活動の活性化のため、補助金の交付等により最小限の支援を行っている。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ■漆生産量増加の支援のため、漆の苗木を保護するネットを設置した。 ■福知山市内、京都市市内の店舗やショッピングサイトにおいて漆製品の委託販売を実施した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題		<ul style="list-style-type: none"> ■伝統文化の保存、継承に取り組む団体に対して、補助金交付等により継続的に支援を行っている。 ■漆の植栽支援を行っているが、丹波漆の生産量は増加していない。植栽から漆が掻けるようになるまで約10年かかること及び漆生産の担い手が少ないことが原因となっている。丹波漆の生産を安定化し、担い手の経済的な安定性を確保するためには植栽支援の他にも継続的な支援が必要である。 ■福知山市内や京都市内において漆製品の展示を行い、委託販売を行うことで、丹波漆の情報を発信している。一方で、丹波漆の生産量が少ないため、漆製品に少量しか使用できないことが課題となっている。 	
改善策		<ul style="list-style-type: none"> ■丹波漆振興プランを策定し、丹波漆振興の今後の方向性を定める。 ■漆の植栽支援を行っているが、丹波漆の生産量は増加していない。植栽から漆が掻けるようになるまで約10年かかること及び漆生産の担い手が少ないことが原因となっている。丹波漆の生産を安定化し、担い手の経済的な安定性を確保するためには植栽支援の他にも継続的な支援が必要である。 ■漆製品を小ロットで販売できる店舗との委託販売を継続し、福知山市内外の展示会へ出展することにより、丹波漆の情報発信を行う。 	

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	子育て交流・相談・支援事業					事業コード	030201430386				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322				
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室			所属長	新年度に記入					
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	子育て応援まちづくり事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	就学前の子どもとその保護者を対象に、交流の場の提供、子育ての相談・支援を通して子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。										
対象者	就学前までの子どもがいる家庭			対象者数		単位あたりコスト					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	NPO法人おひさまと風の子サロン、公益社団法人福知山市シルバー人材センター										
事業概要 (簡条書き)	・地域子育て支援拠点事業の実施 地域子育て支援広場事業の実施(委託)、公立園の子育て支援センター事業の実施 ・利用者支援事業の実施(委託) ・おひさまひろば事業の実施(委託) ・施設の維持管理										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容						

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	21,738	10,542	11,356	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
		前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0			
小計(①~③)	21,738	10,542	11,356	0		
予算財源内訳	① 一般財源	6,636	3,051	5,313	0	
	② 国支出金	7,706	4,442	3,721	0	
	③ 府支出金	6,296	3,049	2,322	0	
	④ 地方債	1,100	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 16	0			
	② 配当予算	21,722	10,542			
	③ 執行額	18,332	0			
	④ 執行率	84.4%	0.0%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.21 / 1.51	0.36 / 7.46	/	/	
	② 概算人件費	5,455	21,530			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,787	21,530				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	地域子育て支援拠点事業利用人数(延人数)	人	7791 / 20000	10563 / 10000	/ 10000	/ 10000	10000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	地域子育て支援拠点事業実施施設数	箇所	5 / 5	6 / 6	6 / 6	6	6
	単位あたりコスト		3492.8	3055.3			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 転入の多い地域であることや核家族化が進んでいることから、子育て家庭の孤立化を防ぐためにも必要な事業である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地においては、継続的に活動されているNPO法人が事業を受託しており、これまでの手厚い相談支援体制について、市民からの評価も高く、ロコミで利用が広がり、事業の効果が上がっている。 多くの方に利用いただけるよう利用料は無料としている。(他市も同様) 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの方に利用いただくことで、保護者同士のつながりが生まれやすくなるため、呼び込みやすい企画などを通年実施。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、多くの方に安心、安全に利用いただけるよう衛生環境に配慮しながら運営することができた。 イベント実施時など参加者から意見をいただく中で、利用者からの声を反映して事業を進めることができた。 継続した利用先、相談先となるように初めて利用された方に配慮しながら運営することができた。 各施設の利用のきっかけとなるようSNSによる魅力発信を充実させることができた一方、SNSを利用しない方への発信に力を入れる必要もある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 子ども政策室に立ち寄られた機会や、子ども政策室の職員が保護者とつながる機会を生かして、情報を発信する。 各施設の特徴を生かしながら、連携、役割分担のうえ効果的な支援を実施する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--